

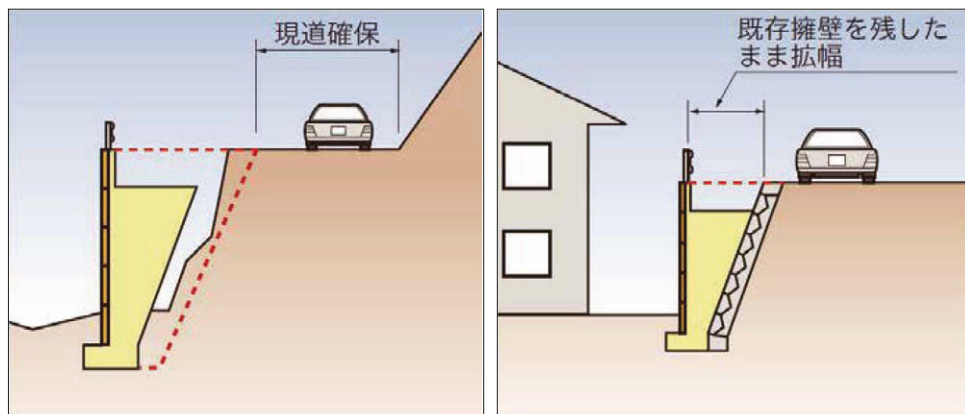
# バランス工法擁壁 (フロントブロック)

## バランス工法擁壁PATとは？

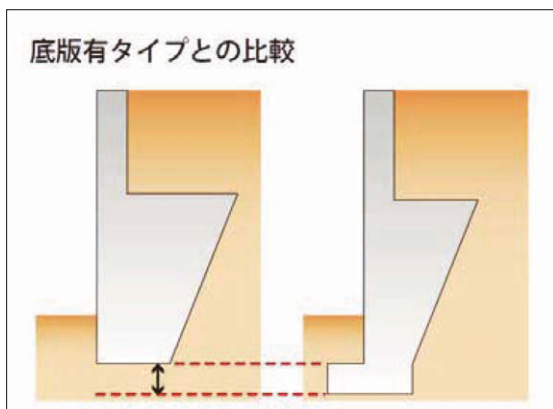
底版幅より上辺幅のほうが広い、逆台形コンクリート擁壁工法で、実績も十分にあります。  
様々な利点を持ち合わせた形状で、前面には耐久性、景観に優れた石肌模様のプレキャストブロックを使用します。

### ■ 特徴

1. 基礎幅が従来擁壁の2/3~1/2で背面の掘削幅が少なく、工期の短縮工費の低減を図れます。
2. 通行止め（車線減少）をしないで施工ができます。
3. 前面にプレキャストブロックを使用するため、施工が早く安全です。
4. 既設の擁壁（構造物）を残したままの拡幅工事も可能です。
5. 特に山岳部の急斜面での道路拡幅、新設工事にバランス工法の特長を発揮することができます。
6. 埋設物（光ケーブル、ガス管、水道管、下水道管）など敷設替えを回避できます。

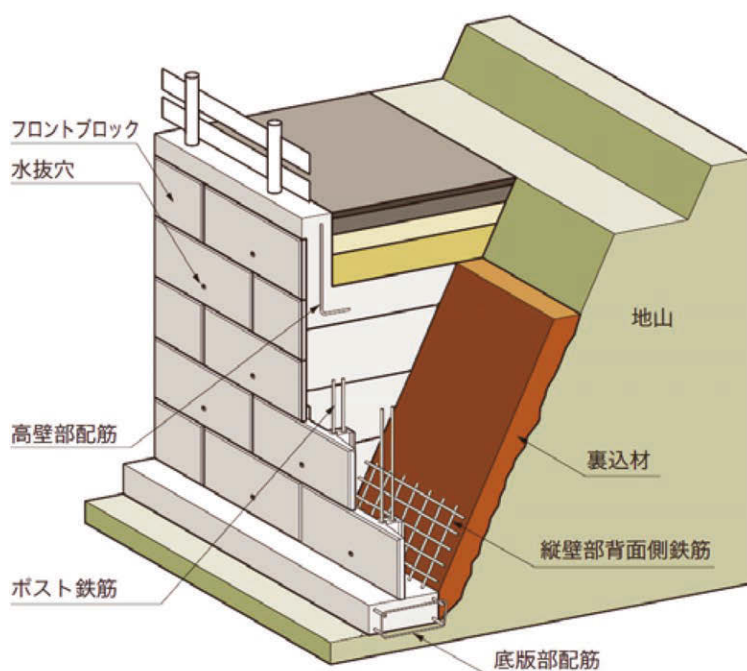


### 底版有タイプとの比較



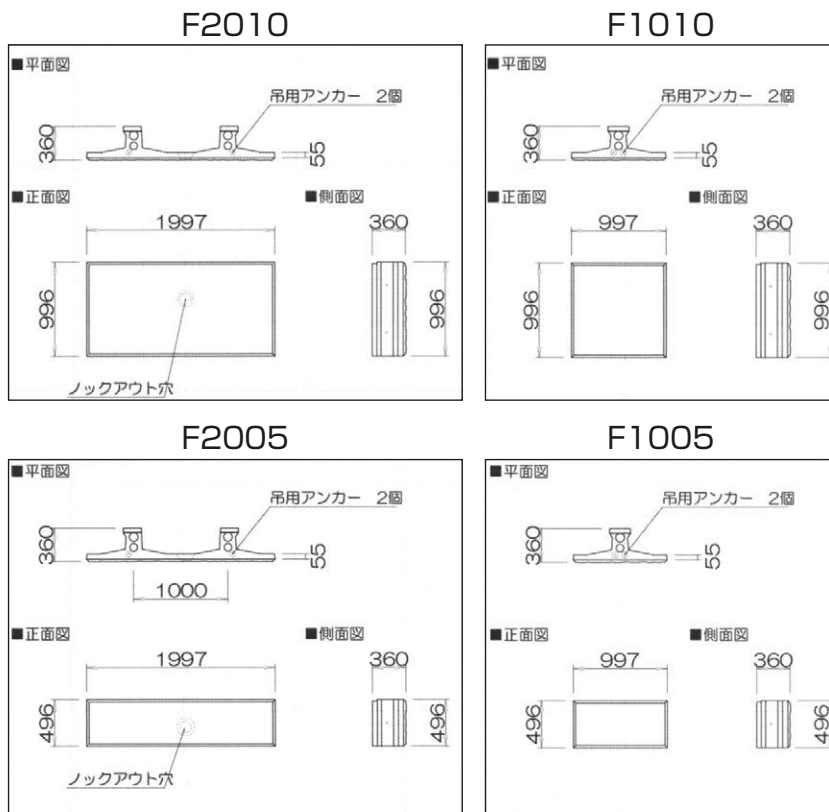
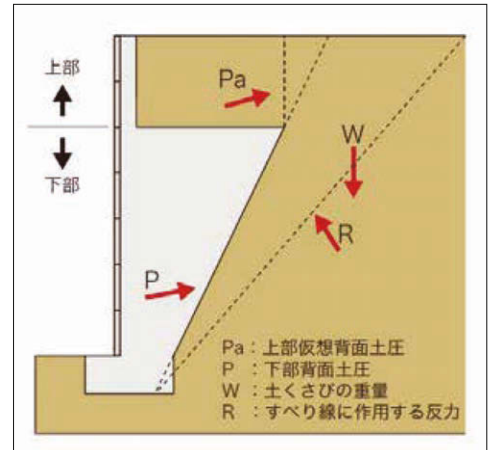
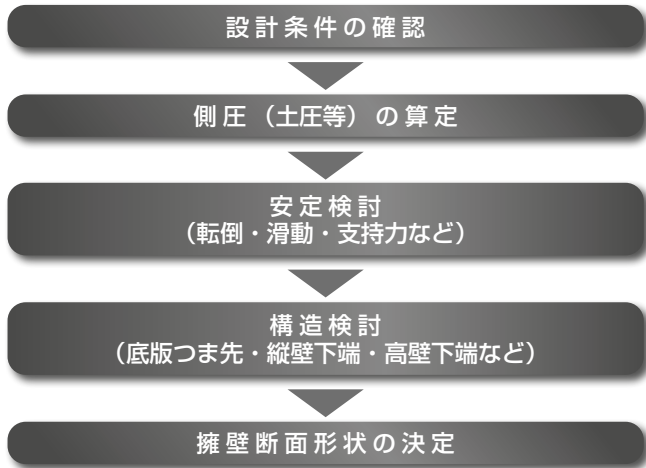
- ◆掘削にある程度余裕があれば、フーチングレス断面での検討も行えます。
- ◆フーチングレスにすることで擁壁高を低くできます。
- ◆フーチングレスの場合、構造鉄筋が必要でなくなる場合があります。
- ◆フーチングありとなしでは、ない方の壁体が断面積が大きくなります。  
※どちらかの経済的な断面を選定します。

### ■ 標準敷設図



## 【設計事項】

「道路土工—擁壁工指針（日本道路協会）」に準拠し設計しています。



## ■ ブロック固定用モルタル使用量 (1:2)

呼び名	モルタル数量 (m <sup>3</sup> )
ブロック 1m <sup>2</sup> 当り	0.012
F2010	0.024
F2005	0.012
F1010	0.012
F1005	0.006



## ■ 標準歩掛

呼び名	規格 長さx高さx幅	参考質量 kg/個	1日の標準据付数		労務				トラッククレーン
			m <sup>2</sup>	個	世話役	特殊作業員	普通作業員	小計	
F2010	1997x996x355	622	-	-	-	-	-	-	-
F2005	1997x496x355	302	-	-	-	-	-	-	-
F1010	997x996x355	304	-	-	-	-	-	-	-
F1005	997x496x355	156	-	-	-	-	-	-	-
※標準歩掛 (バランス工法 10.0m <sup>2</sup> 当り)		-	70	33~43	0.07	0.14	0.50	0.71	0.15

※フロントブロック <150m<sup>2</sup> (L=30.0m x H=5.0m) 以上の標準歩掛

※現場条件が異なる場合は、別途考量してください。

※トラッククレーンは油圧式10~11t吊を標準としていますが、現場条件により適合した機種を計上してください。

※施工場所によりブロックを仮置きすることができない場合は、補助クレーンとして現場内運搬用にクレーン付トラック (2.9t吊) を計上してください。



# 施工写真

擁壁

道路用製品

集水柵

一般製品

NEXCO用製品

電気・証明設備製品

下水道製品

農業土木製品

新技術

